

第5回城東学園新たな学園づくり地域検討委員会

日時：平成30年7月11日 19:00～
場所：大東北公民館2階会議室

次 第

- | | | |
|---|---|-------------|
| 1 | 開 会 | 19:00 |
| 2 | 教育長あいさつ | 19:00～19:03 |
| 3 | 委員長あいさつ | 19:03～19:06 |
| 4 | 報告事項
(1) 第4回地域検討委員会について
(2) 城東学園保護者説明会について | 19:07～19:15 |
| 5 | 協議事項
・城東学園における施設の在り方の方向性について | 19:15～20:25 |
| 6 | 連絡事項
・今後の予定について
ア 第6回地域検討委員会
日 時 平成30年9月4日(火) 13:30～16:00
場 所 掛川市立中央小学校【住所:掛川市下俣633 電話:0537-23-0215】
※13:00から昼休みの児童の様子見学
※中央小学校紹介・授業参観・校舎見学・検討委員会
イ 新たな学園づくり地域意見交換会(予定)
・土方地区 平成30年8月29日(水) 19:00～20:30 土方小体育館
・佐東地区 平成30年8月30日(木) 19:00～20:30 佐東小体育館
・中地区 平成30年9月1日(土) 13:30～15:00 中地区防災センター | 20:25～20:30 |
| 7 | 閉 会 | 20:30 |

1 開催日時

城東保育園	平成30年4月4日（水）	＜入園式参加者、検討委員＞
土方小学校	平成30年5月12日（土）	＜保護者2名、検討委員2名、その他2名＞
佐東小学校	平成30年5月12日（土）	＜保護者7名、検討委員2名＞
中小学校	平成30年6月2日（土）	＜保護者4名、検討委員3名、その他2名＞
佐東幼稚園	平成30年5月24日（木）	＜保護者28名、検討委員4名＞
中幼稚園	平成30年5月29日（火）	＜保護者5名、検討委員1名＞
土方幼稚園	平成30年5月31日（木）	＜保護者9名、検討委員1名＞

2 保護者説明会での御意見について

(1) 園児・児童・生徒について

ア 子どもの数の減少

- ・子どもの数がすごく減っている。このまま行けばこの地区はどうなってしまうのか、教育がどうなるのか不安に感じている。（佐東小保）
- ・子どもの数が減っている現状において、利便性や教育環境で市街地の学校を選んで転校した保護者がいた。（佐東小保）

イ 児童生徒の様子

- ・高校に入ったときに、単学級の学校で切磋琢磨、揉まれた経験の少ない子は勉強にしても部活動にしても学力面や気持ちの面で他の中学校の子に勝てないと思ってしまう子が少なくないと聞いた。（佐東小保）
- ・自分は、小中学校とも大規模校で育った。佐東ののんびりとした空気がよいと思うこともあるし、大人数に揉まれ競い合うことが少ない点については不安に感じることもある。（佐東幼保）
- ・園同士の交流や、小学校で行っている3小学校の合同行事など効果があると思う。（佐東幼保）
- ・以前、児童館に勤めていた。0歳児から高校生までが集まってくる。最初は悪ぶっている中学生でも、次第に小さい子の面倒をよく見てくれるようになった。いろいろなイベントが縦の連携をうまく使って成功することができた。小中一貫教育でも同じことが出来るのではないかと思う。（土方幼保）

ウ 学園化構想

- ・自然教室は3校合同だからできていること。単独であれば活動の内容も減る。

(2) 施設形態について

ア 施設一体型賛成意見

- ・幼保のこども園化も進められている。小中とあわせて幼保も一緒になれば理想だと思う。（土方小保）
- ・保護者が通えるカルチャースクールのようなもの、年配の方のサロンのようなもの

のが学校に併設されていれば、大人が子どもの様子を間近に見ることができてよいのではないか。子どもたちと一緒に帰宅することができれば見守りにもなってなお良い。(土方小保)

- ・校舎の老朽化の問題があるのであれば、一体化して一斉に建て替えるのがよいのではないかと思う。古い施設では災害の際も心配。(土方小保)
- ・学力の劣る子は、少人数学級ではずっと劣等感を持っていてはいけない。クラス替えが出来た方がリセットができてよいのではないか。(中小保)
- ・もし一体校を建設するなら、ちょうど城東地区の中心にある城東中あたりが良いと思う。(佐東幼保)
- ・一体校を建てるとしたら、地区の中心である城東中学校辺りだと思っている。(佐東幼保)
- ・他地域では、学年の人数が減っていることにより、その学区から出ていく人もいるという話を聞いている。これから子どもの数が増えていくということはないと思う。一体化しないと学校が成り立たない。2クラスあるとメンバーが替わり、リセットできて良い。(佐東幼保)
- ・幼稚園が子ども園として一緒になるのなら、小学校も一緒によいと思う。(佐東幼保)
- ・親としては、小学校のうちから一緒にすごした方が、中学に行くときに安心できると思う。(佐東幼保)
- ・小中一貫教育を行っても分離型では、意識が統一できないのではないかと思う。(佐東幼保)
- ・分離型で行くことになったら小中一貫教育とは言えないのではないか。(土方幼保)
- ・費用の面を考えると、一体型の方がよいのではないかと思う。(佐東幼保)
- ・一体型で一緒にすごすことで子どもたちの絆が深くなるのではないか。(佐東幼保)
- ・一体校建設は、早ければ早いほどよい。(佐東幼保)
- ・認定こども園化が先行して進むと、こども園で一緒だった子たちが、小学校で3校に分かれて、また中学校で一緒になることになる。できれば小学校も認定こども園と歩調を合わせて、同時期の一つになってくれればよい。(佐東幼保)
- ・私は、園、小、中とずっと1クラスでクラス替えもなく、中学校では男子は野球部、女子はバレー部しかなく部活を選ぶことが出来ない環境だった。大きい学校の方がよいと思う。(中幼保)
- ・中小出身。ずっと1クラスだった。人数が多くて、いろいろな子たちと関われる環境はよいと思う。(中幼保)
- ・一緒になった方がよいと思う。自分の子どもが幼稚園入園の際に人数が少なくて、同性の同級生の子が何人入園するのかすごく気になった。(中幼保)
- ・一体化することに不安はあるが、少人数でクラス替えがないよりは良いのではないかと思う。(中幼保)
- ・災害が起きた時のことを考えると、兄弟で別々のところへ迎えに行くよりは、1

ヶ所の方がよいと思う。(土方幼保)

- ・小中一貫校になることがいいのかどうかはよく分からないが、今後、人数が減るのであれば、多くの子と関わり合いを持たせた方がよいのではないかと思う。

(土方幼保)

- ・子どもが少なくなってもずっと1クラス、兄弟も少ない子が多い。親がついていかないと外に遊びに行けない。年の上の子を見て、あれをやりたい、これをやりたいということも出てくる。縦のつながりが出来れば、遊びや勉強で年の上の子に面倒を見てもらったりすることもできるのではないか。校舎の配置等で配慮していただけるのであれば、一緒になってもよいのではないかと思う。(土方幼保)

イ 施設一体型に関する不安

- ・一体校になると、0歳～15歳まで同じ子たちと同じクラスでということも考えられる。一体校になるとそれが心配になってくる。(佐東小保)
- ・一旦、人間関係が悪くなってしまうと、その関係をずっとひきずることになるのではないか心配。(中小保)
- ・一体校になった場合の中学生の上下関係が小学生にも影響しないか。中学生の悪い影響が小学生にも及んでしまうのではないか不安。(佐東小保)
- ・9年間で2～3クラスの全体のメンバーは変わらない。いじめが起きた時に、小学校から中学校へそのまま続いてしまうのではないか心配。(中小保)
- ・これまでは、地域の人たちに子どもたちが見守られて育ってきた。あの子はどこの家の子だということも分かっていた。一体校になったら、そういうことがなくなってしまうのではないか。(佐東小保)
- ・学区が広がったときの通学方法で、スクールバスが考えられるが、バスに乗れるか乗れないかの境の地域は、選択できるなど大目に見てほしい。(佐東幼保)
- ・一体校になる場合、途中から一体校に通うことになる子ども達は環境の変化に戸惑うことになるのではないか心配。(中幼保)
- ・新しい校舎を建てる場所の地盤とかが心配。安心安全な学校に。(中幼保)

ウ 施設分離型賛成意見

- ・地域のコミュニケーションが薄くなってしまう。バスに乗ってしまえば、地域との交流はなくなってしまふ。いま、学校まで子どもたちの登校に付き添っているが、その間で子どもの様子が分かるし、一緒に話しをすることがコミュニケーションの貴重な時間になっている。(佐東小保)
- ・母校を残して欲しい。(佐東小保)
- ・中小出身、こちらの高校を出て、一度外に出て戻ってきた。子どもが自分と同じ学校に通うというのは嬉しい。母校がなくなるのは寂しい。(中小保)
- ・9年間一緒になるのはどうか。6年でいやになったら私立の中学校に行ってしまう子が増えるのではないか。小学校が違っても、子どもは塾や習い事で交流はある。弱い子は、人数が多くなると先生の目が届かなくなるのではないか。(中小保)
- ・こども園になって3園一緒になった時に、母親のグループの中に入れるかどうか

心配している保護者もいる。一体化すれば保護者も苦勞する。(中小保)

- ・これからさらに人数が減るのに、一体校にして、お金をかけて、人の流れをかえてまでやる必要があるのか疑問。分離型で交流を進めるくらいが、なんとなく中学になって一緒になる子が分かる程度が子ども達にとってはよいのではないか。幼稚園がこども園になって、小学校も一体校になって子ども達が12年間同じメンバーですごすことになると考えるとぞっとする。(中小保)
- ・小学校を残してほしいと思っている。人口減少もあって、土方、佐東では少年野球も合同でやっている。修学旅行も一定の規模がないと利益にならないということで一校のみでの実施が出来なくなるというような話しも聞いた。統合するのは時代の流れなのかなとも思う。(中小保)

(2) 地域について

- ・子どもは地域に残って欲しい。地域で子育てをしなくてはいけないと思う。そのために教育を学校だけに任せておかないで、地域で何かをしなくてはいけないのではないかと考えている。(佐東小保)
- ・幼稚園の跡地もあるので、学童や防災拠点であれば規模的には幼稚園ぐらいでよいのでは。小学校よりもきれい。(土方小保)

(3) 検討委員の意見（各保護者説明会にて）

- ・多くの児童のいる学校の子は自分で考えて判断する力がつきやすい。教員も同じで、多くの先生で相談してやった方がよい。小規模の学校の先生は1人でいくつもの分掌事務を抱えて1人で悩んでいることが多い。(佐東小にて)
- ・一体校になる場合には通学方法、登下校の安全の確保が問題だと思う。
(土方小にて)
- ・地域の状況として、保護者世代では一体型を望む声大きい。一方で地区の役員さんをされているような年配の世代の方には佐東、中地区などは反対意見も多い。地域にとって小学校がなくなることはいいことがないと私自身も思っている。しかし、子どもにとっては新しい教育環境で育てて欲しいと思っている。世代間での思いが違うので、すぐにはいかないだらうと思っている。(土方小にて)
- ・跡地をいろいろなコミュニティーの事業に活用するという事になればよい。
(土方小にて)
- ・学童保育所を旧小学校単位で小学校か幼稚園の跡地に設けるというのも1つの案ではないか。(土方小にて)
- ・小学校の体育館の夜間の利用もかなり多い。防災の避難場所という点から考えると、体育館は残したい。(土方小にて)
- ・これからの子ども達が、掛川市の財政の許容範囲の中で、教育を受ける環境としてふさわしい環境はどんな環境なのかを模索したい。(中小にて)
- ・今後は、城東学園ではなく大東学園になるのではないか。子どもが少なくなれば、大東区域で1中学校ということになってもおかしくない。(中小にて)

第2・3・4回 城東学園新たな学園づくり地域検討委員会の発言整理

1 発言数

	内容	1G	2G	3G	4G	5G	計
第2回	全体概要等	15	18	20	28	17	98
第3回	城東学園現状等	9	22	30	25	18	104
第4回	小中一貫教育	12	13	7			32
計		36	53	57	53	35	234

2 整理における（再）確認

(1) 予算

・別紙

(2) 児童数予測

学校	1995 H7年	2017 H29年	22年間 の増減	年増減率	2027年 10年後	2037 20年後	2047年 30年後	2057年 40年後	2067年 50年後	0人になる年
土方	223	148	-75人	-3.41人	113	80	46 複式?!	12	0	2060年 43年後
佐東	252	164	-88人	-4.00人	124	84	44 複式?!	4	0	2058年 41年後
中小	174	107	-67人	-3.05人	76	46 複式?!	15	0	0	2052年 35年後

※最も児童数が多かった年度とH29年度の差

学校名	年度	児童数	H29との差	年増減率
土方小	S32	609人	-461人(60年間)	-7.68人
佐東小	S21	462人	-298人(71年間)	-4.20人
中小	S23	412人	-305人(69年間)	-4.42人

【複式学級】

・小学校…他学年と合わせて
16人以下
※1年生を含むときは8人

(3) 小中一貫教育型

No.	型	予想される成果	予想される問題点
1	分離現状維持型（現状維持）	発言あり	発言あり
2	分離統合型（小学校の統合） ・中心校の増築、新築	発言あり	発言あり 増築賛成発言なし
3	分離隣接統合型（小学校の統合） ・統合小学校のみ隣接新設 ・城東中・統合小学校とも新築		
4	一体増設型（城東中の増築）	発言なし	発言なし
5	一体新築型（小中一体化校舎の新築）	発言あり	発言あり
6	4-5型（6-3制→4-5制）	発言なし	発言なし

3 発言整理

型	予想される成果	予想される問題点
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現状維持型 一貫教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに学校があれば、通うのに便利である。 ・先生が目が行き届き、勉強面で保護者としての不安がないと思う。 ・小規模校では異学年交流が密で、高学年の子が低学年の子を世話するなど、高学年の子が育っていくメリットがある。 ・小学校の校庭には、ドクターヘリが降りられるなど、地域の防災の拠点機能がある。 <p>※中学校へ入学する際、不安をなくす1つの手立てとして合同自然教室などを3小学校で取り組んでいる。</p>	<p>【子どもにとって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数単学級は、人間関係が固定化し、クラス替えがなく子どものクラスでの立ち位置が決まってしまう。 ・幼稚園から6年生まで同じ顔で暮らし、競争心は衰える。クラス替えがあれば、気持ちを新たに頑張ろうと思う。 ・いろんな人と接する機会があって、いろんな話や遊びをすることが大事である。 ・城東地区はほのぼのとした雰囲気があるが、幼稚園から大規模校の子とは打たれ強さが違う。色々なタイプの人と接する環境を整えていくことも必要。 ・高学年になってくると男女差・個人差が大きくなっていくので、少人数の単学級では、球技などで得意でない子たちの活躍できる場面がなくなってしまう。子どもの数が多ければ、チーム分けによってそういったことも解消できる。 <p>【学校・教員にとって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然教室の他に、学習での交流を考えたいが、教科の中では難しいところがある。やはり行事の交流が中心となる。 ・子どもたちの交流を図るためには、教員同士の打合せ時間が必要であるが、その時間を生み出すことが難しい。 ・交流を行う計画をしているが、移動手段は大きな課題となっている。 ・小さな学校が多いが、校地が広く管理は大変である。 ・PTAの古紙回収も大変である。 ・クラブ活動も少ない人数の先生だけではできない。 ・小さな学校でも大きい学校と同じようにやらなくてはいけないことは同じようにある。教員の負担は大きい。 <p>・小さい学校はとても大変で、職員が出張</p>

		<p>の時、校長は授業に入ったり、電話番号をしたりしなければならないことがある。</p> <p>【地域にとって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園ができるのに、分離型の現状維持では幼稚園や保育園が1つになる意味がない。 ・本当に困った時、どうするのか。 ・人口減のことなどを考えると、学校がなくなると言っている状況ではない。
<p>小学校統合型（小のみ統合） 一貫教育</p>	<p>○たくさんの友達とふれ合えてよい。</p> <p>○クラス替えができ、新たな気持ちでスタートできる。</p> <p>○地区の小学校がなくなるのは寂しいが、このままでは財源が底をつく。</p> <p>* ○は小中一体型と共通</p>	<p>○通学の安心安全は保障しないとイケない。</p> <p>○学校が統合したときに、遠くの人はどうやって通うのか。また、通学費用はどうなるのか。</p> <p>○既存の小学校にあった地域コミュニティや防災の拠点機能をどう維持するのか。</p> <p>○学校の場所、通学方法、バス、通学路などの課題がある。</p> <p>○保護者説明会の意見としては、見守りがなくなるのが寂しいので反対という意見もあった。</p> <p>* ○は小中一体型と共通</p>
<p>小中一体型（小中の統合） 一貫教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一体校になれば、特別支援学級の子が学園外の離れた学校に通わなくても、同じ地域の学校に通えるようになるのではないか。 ・城東中学校を中心としたエリアに幼保・小・中学校が集まって、この地域の子供たちは皆ここに通って学ぶということになれば、環境の変化による中1ギャップなどもなくなる。 ・教科担任制など、1つの学校になった方がいろいろなことを展開しやすい。 ・コスト面を考えると、「一体新築型」が一番よい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一体型では、どの学年段階でリーダーシップを取っていくのか。 ・一体型にしてしまうと、小学校と中学校の連続が子どもにとって刺激にならないのではないか。

4 その他の発言

(1) こども園との関係

- ・こども園ができて、一緒に過ごした園児たちが小学校で分かれるのはどうなのか。
- ・こども園周辺に小学校・中学校ができれば理想である。
- ・こども園は教育委員会の管轄ではないが、場所等を早く決めていかないと迷ってしまう。

(2) 場所

- ・用地は城東中を中心に置いた方がよい。インフラを考えると城東中中心がよい。

(3) 防災

- ・防災拠点を心配している人もいる。今の学校の跡地を上手く利用すればよい。

(4) 通学バス

- ・登下校において、不審者問題もあるので、バス等安全の確保された方法で通ってほしい。それに街の人々も乗れるようになるとよい。教育だけではなく、街全体がどう広がっていくのかも考える必要がある。この地区にもっと人が集まることをイメージしたい。
- ・中地区は、バスが廃止になり交通手段がない。

(5) 一層の計画推進

- ・中小から15人中3人が、城東中以外の外の中学校へ行ってしまう。城東中自体が空洞化する。城東中学区内から必ずしも城東中へ入るとは限らない。私立へ行く人もいる。早くやっつけていかないと他へ移ってしまう。学区外のお中学校へ行く子がいる現状を心配している
- ・最近、旧掛川市へ移っていく若い人が多い気がする。城東中学校すら存続が難しくなってくる。旧掛川市内へ通わなくてはいけなくなると思うと、城東内で通える方がよい。

(6) 学区

- ・昔、中地域は大浜中学校の前身の城南中学校へ通っていた歴史があり、地域の中では大浜中学校の方が近いから、城東中学校にこだわらなければそちらへ通ってもいいのではという意見もある。

(7) 付帯施設、機能

- ・例えば、城東中学校の近くに「さんりーな」のような施設を建設し、水泳の授業等をそこで行う。指導者は民間の方に依頼することで、指導効果が上がる。他の部活動も同様にできるようになれば良い。スポーツ少年団もその中に入ることで、一貫した指導がなされて、部活が強くなるかもしれない。さらに塾等、色々な施設が入ってくることはすごくよい。
- ・中学校では、生徒数減少に伴い、教職員の人数も減り、それぞれの部活動について、未経験の教員が担当している。他の施設があり、専門性のある指導者がいれば、色々な可能性が広がる。
- ・全国にないような学校ができれば人が集まってくる。夢はどんどん広がる。
- ・昔、バレーボールのスポーツ少年団の監督を行った時、団員は11人ぐらいで、どう

しても桜木小のような大きな学校には勝てない。人数が集まり、大きな母体の中でスポーツ少年団の活動ができると良い。

- ・仮に統廃合することになったとしても、旧校舎をコミュニティセンターとし、地域住民が活用できる場を残していくといったことを地域に伝えていくのがよいのではないか。

(8) 本会の運営

- ・少子化で、学校を一緒にせざるを得ないと思う。意見を聞くことも大切だが、ぐずぐずしているのは良くない。
- ・良い面をアピールして、早めに決めた方が良い。

(9) その他

- ・小中一貫教育について保護者に伝わりにくく、同じ学園であるという意識は育ちにくい。
- ・320人体制のこども園と東京女子医科大学の撤退もある。一体型の具体案がほしい。